



カンボジアの子どもたちに教育を

ニュースレター72号

2021年12月

2021年ふりかえり

前回のニュースレターにてお伝えしましたが、カンボジアでは識字学校の運営継続支援と生活や学業がより困難な状況にある子どもたちの生活費、学費援助のため現地スタッフが行っていた Drinking Friends' Fund (以下 DFF) への積極支援を継続しております。

また、去年に引き続き、Zoom を活用し、コロナ禍でも出来る活動を継続しております。

(Zoom・・・インターネットを使用してパソコンやスマホでお互いの顔を見ながら会談)

日本では、Zoom での日韓学生間交流会を企画し、また韓国語講座をはじめました。

また、Drinking Friends' Fund in Japan の開催、グローバルフェスタ2021へのオンライン参加、当会の新ホームページの立ち上げを実施しました。

あらためまして皆さまのご支援にお礼申し上げます。今後も変わらぬご支援をお願いします。

◆ 2021年活動概要

水谷充徳

- ◆ 1月・・・ 1月の親睦会兼 Zoom 会議にカンボジアの現地職員リティさんも参加。
- ◆ 2月・・・ 会議開催形態変更
『実務会議』・・・ 実務メンバー(現役スタッフ)にて毎月実施。
『全体会議』・・・ 上記メンバー+全理事にて節目や重要な議題がある月に実施。
- ◆ 3月・・・ ニュースレター71号 発行
うさんと韓国事務局再興について打ち合わせ実施。
- ◆ 4月・・・ Drinking Friends' Fund in Japan を4/24実施。
日韓学生交流会開催・・・うさんの母校と自修館学校 で Zoom を使って実施。
柳さん、長内さんの協力により自修館学校へ韓国語講座開始。
識字学校へサンバス先生の後任のソフィエプ先生が着任。
- ◆ 8月・・・ ニュースレター 葉書版 発行
- ◆ 10月・・・ グローバルフェスタJAPAN2021(10/9、10)へオンライン参加。
また、ウダバルさん、長内さんのご協力により当会の新ホームページ運用開始。
- ◆ 12月・・・ ニュースレター72号 発行

◆カンボジア便り

若松晴美

カンボジアの状況ご報告前に、当会のカンボジア人スタッフ、リティさんのお父様 Pot Vorn さんが他界されたことをお伝えいたします。今年 4 月 22 日に 78 歳で亡くなられたという訃報が 5 月初旬にありました。コロナウィルスに感染したためとのことでした。

リティさんの住む首都プノンペンからは州をまたいでかなり離れた所に暮らしていらっしやった為、国中がロックダウンの最中、ご自宅まで行くことができず、お葬式もできなかったとのことでした。

リティさんのお父様は、これまで約20年間にわたり当会の活動をカンボジアで支えてきてくださったリティさんを、設立間もない 2002 年に日韓アジア基金にご紹介くださった方で、アジア未来学校の建設や開校にあたる様々な事務的なことにもご尽力くださった方です。お父様が息子である



リティさんを当会にご紹介してくださったからこそ、私たちが現在も活動が続けることができていると言っても過言ではありません。

コロナ禍で活動が制限される中、日頃よりご支援くださっている皆さまへのご報告が遅れてしまいましたこと、お詫び申し上げます。

リティさんと当会を結びつけてくださり、アジア未来学校(目的を果たし、現在は閉校)の設立に大変にご尽力くださったリティさんのお父様の死を悼み、感謝するとともに、私たちにできることをしっかりと考え、実行して参りたいと思いました。

<カンボジアでのワクチン接種の様子>

リティさんからの情報によると、カンボジアでの現在のワクチン接種率は 86%を超えるとのことでした。日本では、先日より3回目のワクチン接種がはじまりましたが、カンボジアでは既に多くの方が3回目のワクチン接種が進んでいるそうです。

カンボジア政府は医療関係者(軍の医療関係者や医療従事者としての仕事を始めたばかりの方を含む)によるボランティアグループを設立し、ワクチン接種推進のための政策を行っているそうです。

また、医療従事者が最前線で働いてくださっている為、第一優先にワクチン接種を行うグループと位置づけ、次に 60 歳以上の高齢者の方、教師や警察官、軍で働く人々、政府関係者、を更に次の接種グループとし、その後その他の感染者が多数いる首都プノンペンから他の都市へという流れでワクチン接種が行われているとのことでした。

<識字学校の新しい先生>



昨年 目のご病気でご退職をされたサンバス先生の後任として、今年2月より着任された Tem Sopheap(テム ソフィエプ)先生のご紹介をさせていただきます。

今年 27 歳の息子さんがいらっしゃるソフィエプ先生は、現在識字学校のある村の近くにお住まいで、首都プノンペンのホテルで働いていました。

アプサラ という カンボジア伝統舞踊のパフォーマンスで来日されたことがあるそうです。

コロナ禍でとても大変な時期に着任いただいた先生ですが、英語ができますので、私たちとのコミュニケーションにも不自由しないと思います。

今後のご活躍に大変期待しております。

<識字学校の状況>

11 月 1 日よりカンボジア政府は学校を再開するというアナウンスをしました。感染者数は減少傾向にあるものの、週に2回だけ子供たちは通学をしているそうです。

識字学校のある地域では 10 月末に大規模な洪水が発生しました。被害は大きく、未だに識字学校とその周辺地域の学校は再開していないそうです。



上の写真のように膝上あたりまで水が浸水してしまい、識字学校では授業再開のため、ソクホーン先生が砂や土を入れながら水がはけるようにご尽力なさっています。リティさんからの最近の報告によりますと、近々授業が再開できる目途が立ったとのことでした。

子どもたちや、ご家族、先生方や被害に遭われた地域のすべての方の無事を願うばかりです。カンボジアではこのように、雨季に大規模な洪水が起こりますが、コロナ禍の中、自然災害にも決して屈せず、どうかまずはコロナに気を付けながら生活環境が悪化しないよう、そして子供たちの勉強再開が一日も早くできますよう、スタッフ一同心から願っております。

◆日韓交流の新たな可能性

事務局長 長内麻誉

2021年3月に当会設立者の一人であるウ・スグン(禹守根)さんとのオンラインミーティングをきっかけに、日韓アジア基金の新しい活動が始まりました。日韓両国の学校間の交流を促す活動です。マスメディアを通じてではない直接的な交流により本当の韓国(・日本)を知ることが、より良い日韓交流を実現することに繋がるという考えです。コロナ禍である2021年は、全てオンラインで交流が行われました。実際に会うことが出来ないのはとても残念ですが、オンラインを活用することでより交流の機会は作りやすくなったことを実感しました。

2021年に入ってから韓国の仁川広域市教育庁からウさんに対して、新しく設立される東アジア国際教育院の活動に協力してほしい旨の依頼がありました。これは仁川広域市教育庁が独自に作った機関で、韓国の子供たちに早い段階で東アジアの国々に関心を持ち触れる機会を提供したいとの思いで作られました。

日本との活動をどのように繋げるか考えていた禹が、日韓アジア基金で取り組むことが良いと考え、私たちも賛同したために実現した活動です。

◆自修館中等教育学校 - 松都(ソンド)高等学校

仁川広域市教育庁の本格始動に先駆けて、学校同士を繋ぐ活動を始めました。以前より一緒に活動をしていただいていた自修館中等教育学校の伊藤先生にお声がけをして、ウさんの母校である松都高等学校との交流が4月に始まりました。



<韓国:松都高等学校>



<日本:自修館中等教育学校>

1回約1時間、Zoomを通じてお互いにコミュニケーションを図る交流をして来ました。交流の内容は生徒主体で決められていき、自己紹介に始まり、お互いの学校や学校生活について紹介・質疑応答を行ったり、チーム対抗のクイズゲームをしたりもしました。

松都高校の生徒は日本語を勉強していますので、交流は基本的に日本語で行われました。韓国の生徒の日本語のうまさに触発され、自修館中等教育学校の生徒も韓国語を頑張って勉強しようと意欲的になっている姿がとても印象的でした。1回目の交流時には、自己紹介を通じてすぐに仲良くなっていました。2校の生徒たちが私たちに、日韓の人々がこんなにもすぐに仲良くなれる人たちであることを証明してくれました。



コロナウイルスの感染拡大により、両校とも分散登校になるなど混乱があった中で先生方の頑張りにより交流会を続けることが出来ました。自修館中等教育学校の生徒が受験生になりますので、両校の交流は 11 月に終了いたしました。

◆韓国語講座

自修館中等教育学校の希望する生徒の皆さんに、理事の柳さんと長内が韓国語の講座をオンラインで開きました。毎週日曜日に 30 分の授業を行い、現役の高校生の吸収力に毎週驚かされました。ネイティブから韓国語を習う機会は多くないので、生徒の皆さんのいい思い出になったら嬉しいです。

こちらも現在は終了いたしました。



◆東アジア青少年平和プログラム

冒頭の説明にある仁川広域市教育庁東アジア国際教育院が 2021 年に始めたプログラムです。2021 年は対象の国を日本・中国・マレーシア・ロシア・ウクライナとして、韓国の生徒は希望者がそれぞれの国・言語について学び、オンラインで実際に交流するといった内容のプログラムです。仁川広域市にある計 6 校の中学・高校が現地にいる日本人の先生から学びました。当会はこの 6 校と交流する日本の学校のマッチングとサポートを任せられました。禹が在韓日本大使館に呼びかけを行い、日本の文部科学省に学校探しを手伝ってもらえることになりました。その結果、北海道から沖縄まで日本全国から応募がありました。その中から選ばれた 6 校が 9 月から韓国の学校と交流を始めました。

まずは、韓国の有名なウェブサイト”naver”の café 機能(日本の掲示板のようなもの)を使い自己紹介や住んでいる場所の案内をしました。動画を撮って載せる生徒もいたり自由に交流しました。その後は zoom での交流が行われました。

最後はこのプログラムに参加した全ての学生がオンライン上に集まり、これまでの交流の成果をお互いに発表し合う場が設けられました。

コロナ禍にこのような活動が出来たことは皆さまのお陰です。 ありがとうございます。

2021 East Asia Youth Peace Camp

PEACE DREAM

Main Events

- [1st session] Peace Dream 19:00-19:50
 - Sand Art video
 - Flash mob for "Peace"
 - Cultural performances
 - Sharing thoughts from each country
- [2nd session] Beauty of Sharing 20:00-20:30
 - Zoom 1) Korea-Malaysia, Argentina, China and Russia (Will be proceeded in English)
 - Zoom 2) Korea-Japan (Korean and Japanese interpretation will be provided)

Host/Organizer

Incheon Metropolitan City Office of Education, Republic of Korea
East Asia Global Education Institute (IEGI)

Associated Organization

IVECA International Virtual Schooling

2021.12.17(Fri) 19:00-20:30 (KST)
Live Streaming
Zoom YouTube

For inquiries
Via email: coolsvyang@ice.go.kr

<https://bitly/2021youthpeacecamp>

事務連絡

丸山芳彦

- ◆2021年3月1日～2021年12月14日に会費・ご寄付を下さった方(敬称略・順不同)
ありがとうございました。頂いたご寄付は大切にに使わせていただきます。

荒川雄彦	福本正勝	岩見豊子	大坪玲子	小林栄次郎
吉崎玲子	高橋周孝	小原勝子	川崎由紀子	竹之内教男
井上卓也	加藤郁雄	千葉まゆみ	石谷草	須藤和子
木下マスマ	加藤茂行	福島悟	細川武	丹下誠司
藤井幸子	神戸博子	波多野淑子	松田明美	松本忠雄
松本美里	菊池貞子	菊池礼乃	松本昌幸	西川真衣子
井内和夫	丸山芳彦	Sangpil Jin	霧山裕司	福島忠男
柳明姫	水谷充徳	若松晴美	高柳直正	

◆イベント関連

- ・日韓学校間交流会(Zoom)企画・開催 (長内麻誉、ウ・スグン)
…自修館中等教育学校と韓国松都高校の交流会からスタート (3月)
- ・韓国語講座(Zoom)適宜開催 (講師: 柳明姫、長内麻誉)
- ・Drinking Friends' Fund in Japan トライアル .. 4月 (若松晴美、霧山裕司)
- ・グローバルフェスタ(10月9・10日) オンライン参加
- ・ニュースレター発行(2月、8月、12月) ..8月は葉書にて代用させていただきました
- ……今後のイベント開催(ボランティア募集)については、コロナの状況次第となります。

- ◆ホームページをグローバルフェスタ開催に合わせて刷新しました。

⇒ <http://www.iloveasiafund.com>

◆ご入会・ご寄付のお願い

活動会員: 年会費 5000円 学生2000円
賛助会員: 年会費 1口 5000円 学生2000円
法人会員: 年会費 1口 10万円
ご寄付: 2000円以上 おいくらでも

活動会員: 活動に参加いただける方
… 総会での議決権がございます
賛助会員: 定期的にご支援いただける方

- ◆ご支援くださった方には 『日韓アジア基金ニュースレター』 をお届けします。(年3～4回発行)

■ゆうちょ銀行口座

支店名 〇一九(ゼロイチキユウ)支店
口座番号 当座 0018-2-25153
口座名義 日韓アジア基金
(カタカナ表記 ニツカンアジアキキン)

■みずほ銀行口座

支店名 駒込支店
口座番号 普通 1017391
口座名義 日韓アジア基金

<お問合せ先>

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(ABK)内

E-メール: nikka17@iloveasia2.sakura.ne.jp Tel:080-6761-1951(担当 丸山)

HP: <http://www.iloveasiafund.com> Facebook、Twitter もご覧ください!

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也